

# 玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2021年8月①号

## あまりにも無謀！ 東京オリンピック開催

頑張る選手の皆さんの姿を見ると、健闘を心から応援したくなります。しかし、新型コロナウイルス感染拡大で、しかも東京は緊急事態宣言下で、オリンピックの開催は問題です。選手を含め、オリンピック関係者の感染も広がってきています。

多くの方が断念すべきと声を上げる中、菅首相と小池東京都知事、IOCが強引に開催しているとしか見えません。

今さらと思われる方もおられるかもしれませんが、「命」の問題ですから、例えば、何らかの大災害が起きれば、中止せざるを得ないわけで、今の東京や世界的なパンデミックの状況からすると、その大災害とも言える状況だと思えます。いったい、なんの為の緊急事態宣言かと言わざるを得ません。

現に東京近辺の医療機関では、新型コロナウイルス陽性患者さんの入院が相次ぎ、コロナ禍での不況や不安で自殺未遂の方の搬送もあると・・・

診察にあたる医師は「ほんとうに五輪が皆さんの希望になるのか。むしろやっている場合ではないのではないのか」と取材に応えたとのこと。（京都新聞7月25日）

地域の小さな区民体育祭さえ、中止の決断をしているのに、なぜ、オリンピックはいいのかと子どもに聞かれて、説明できるでしょうか・・・。

そして、マスコミの報道も問題があります。オリンピック一色で、新型コロナウイルス感染状況や対策についての報道をもっとすべきなのに、いったい日本の報道はどうなっているのでしょうか。

政治の大元から変えていくしかないと思います。10月迄には実施される総選挙で、効率化、利潤ばかり追及する政治から、市民と野党の共闘で、命と暮らし優先の政治に切り替えましょう！

## 9月議会に 「敬老乗車証制度条例」の改定案が出る見込み

京都市が進めようとしている敬老乗車証制度の改悪が、京都市会の9月開催議会で提案されようとしています。

7月21日に開催された教育福祉委員会の質疑の中で、保健福祉局長が、その意向を答弁しました。

早ければ来年から敬老乗車証の対象年齢を、現在70歳から、75歳までに引き上げていくために、1歳ずつあげていく可能性が強まっています。

21日の委員会では、敬老乗車証制度を現行のままで継続して欲しいという請願1件と陳情が477件も提出されていました。その切実な市民の声を無視しての答弁に怒りがわきます。

京都市の言い分は、今後も制度を持続可能とするために、敬老乗車証制度への予算を削る必要があると説明。しかし、一方で、莫大なお金をかけて、北陸新幹線延伸計画には、いくら市の負担金がかかるかもしれないのに、未来の国土軸になると、強引に推し進めようとしています。**北陸新幹線金沢～敦賀間**だけでも、**地元負担は1700億円**と報告されています。自治体として、それこそ後世に大きな負担を残しかねないのが北陸新幹線延伸工事です。大型公共事業は中止させ、福祉の後退は絶対にさせてはならないと強く決意しています。

**つぶやき**：京都府立植物園で咲いた「**ショクダイオオコンニャクの花**」開花は2日間とのことで、せっかく近くに住んでいるのだからと思い観てきました。種から栽培し30年間チャレンジしてきたやっとの開花とのこと。当日は温室入場料も無料という心意気に拍手！京都府や市が進める北山エリア構想で、府民が愛する植物園を儲けのために壊されてはいけなくと強く思っています。



京都戦争展に展示されていた長崎に投下されたプルトニウム型原子爆弾「ファットマン」の模型

今年には教育文化センターで開催され、行ってきました。後世に二度と戦争に参加することがないように伝える活動として取り組み第41回目の開催。実行委員会の皆様に感謝です。戦争に反対する発言をするだけで、「国賊」として逮捕され、拷問や監禁をされた歴史を決して忘れてはならないと思います。治安維持法という法律を作り、国民を取り締まる恐ろしい時代でした。しかし、決して過去のことだけでなく、自公政権は、市民と日本共産党や立憲民主党など野党が共闘して、新しい政治を作ろうとする動きにも攻撃をします。

政治に関心のない国民もおられますが、それも彼らの手法だと思えます。報道にも規制をかける政府はほんとうに許しがたいです。もっと日本のテレビや新聞は、政治の報道をしっかり行っていく必要があると思います。

平和のための京都の戦争展

アンテナ

